

* 「さて、主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。」(エペソ4:1)「召し」は神が呼ぶこと、招くこと。第一の召しは、すべての人が救いのために神に呼ばれているということ。それに応えてキリストを信じ、大きな恵みの中に入れられた人は、召された者としてふさわしく生きることが求められている。これが第二の召しである。

* 「ふさわしい歩み」とは他の人たちとの関係における歩みのことであり、教会のありかたとも言える。その根本的な教えは「御霊の一致」である。(4:3)そのためには、「謙遜」「柔和」「寛容」「愛」「忍耐」「平和のきずな」(4:2)が必要である。これらはイエス・キリストが完璧に持っておられた性質であり、私たちも同じようにしなさいという勧めである。御霊によってのみ可能である。私たち一人ひとりが御霊によって歩み、一致することが召された者たちの集まりである教会にふさわしいことである。争いや妬み嫉み、分裂等から遠ざかろう。

* 七つの「一つ」を共有することによって、私たちは一つ。

「からだは一つ」教会はイエス・キリストのからだ。キリストにあって一つ。

「御霊は一つ」個々に聖霊が宿る。同じ御霊が他の人にも宿る。

「望みは一つ」キリストの御丈まで成長し、御国の世継ぎとなる同じ希望。

「主は一つ」旧約と新約の主キリストは同じ主である。主以外の神はいない。

「信仰は一つ」イエス・キリストが私の救い主であるという信仰。

「バプテスマは一つ」新しく生まれたことのしるし。方式は関係ない。

「父なる神は一つ」すべてのものの元である創造者、支配者はひとり。

* 私たちは、不完全かもしれないが一致によりすでに多くの恵みを得ていることを感謝したい。さらにふさわしい歩みができるよう祈りたい。